

ユニット名	里山焼かんかね？
代表者	岸本晃
達成に資するSDGs目標	13気候変動に具体的な対策を 15陸の豊かさを守ろう
活動概要	奥出雲町のダムの見える牧場と鳥上地区において焼畑を行う。 ダムの見える牧場においては5月後半くらいまで竹を切り、並べ乾燥させる。5月後半あるいは、6月頭に火入れを行う。火入れ後、サトイモ、ツルアズキ、トウキビなどの作物を栽培する。10月まで漸次雑草の防除・作物の収穫を行う。12月に学内向けに講演会を行う。 また、鳥上地区においては灌木を7月後半までに伐採し乾燥させ火入れを行う。火入れ後、横田小ソバや温海カブを育てる。11月くらいに作物を収穫し、12月に鳥上地区で収穫祭を行う。 さとかんの活動がSDGsに貢献することは「気候変動に具体的な対策を」と「陸の豊かさを守ろう」である。解像度を上げるとカーボンファームリングである。カーボンファームリングは竹や木を燃やして炭にすることで炭素を半永久的に土壌に固定できる。加えて、単一で植わっている竹林から火入れ後に2次遷移が起きる。
主な連携先 (予定を含む)	奥出雲町役場 鳥上地区住民の皆さま
成果物の公表予定、 社会への波及効果	奥出雲地域の方の関わりが深まり、島根大学生との交流の機会が増すことが考えられる。現時点では、農業について様々なアドバイスをいただいている。そんな中で、自分たちはどういった貢献ができるのかを考えながら学んだことを活かしていく。 加えて、収量の増加を目指し、昨年行った交流会のような空間で自分たちで作ったものにこだわった食材を提供する形で公表することを想定している。